

ESDティーチャープログラム オンライン研修会

ESDと学びのパラダイム転換

2020.6.29

大分大学教育学研究科 河野晋也

学校教育の場で、よく言われるこのこと。

「教え込みはいけない。」

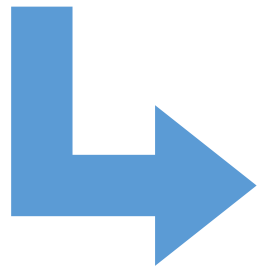
「身近な教材を扱う方が効果的だ。」

「先行き不透明な時代に生きる力を育まなければ。」

「正解のある問題ばかりではない。

時にはオープンエンドも必要だ。」

「知識の習得に留まらず、活用させていかなきゃ。」



「学習のパラダイム転換」構成主義としての学び

- ・なぜESDに、こういう学びが必要なのか。
- ・ESDで取り入れていくためには、どうすればいいのか

学びのパラダイム転換

	行動主義	認知主義 (情報処理的 アプローチ)	構成主義	社会構成主義
主な理論家	スキナー	ガニエ	ピアジェ	ヴィゴツキー レイヴとウェンガー
特徴	学校化された知		真正な学習	
知識観	知識は普遍的に真なもの		知識は一人一人が自ら構成するもの	知識は社会的な営みの中で構成するもの
学習観	知識伝達		学習者の事前知識から事後知識への質的な変化	学習者の事前知識から事後知識への質的な変化（共同体の社会的な営みを通じた内化）
主体	教師中心		学習者中心	
学習者の態度	受動的		能動的・自律的	
学習課題	学校化された課題		真正な課題	

その1 「教え込みはいけない」 ①

知識は伝達するもの (と考える)

知識は客観的で、普遍的だという知識観

知識は対話の中でつくられるもの (と考える)

知識は状況によって変わる、相対的だという知識観

これな～に？

「ペン。」

誰にでも通用して、
間違いになりにくい
答え。



「プロッキー。」

「太いペン。」

「赤いペン。」

それぞれの文脈

裏写りが少なく、子ども
に使わせやすい…

後ろの子ども読める太さ
の字が書ける…

教室で使っているとすぐ
になくなるのが赤…

実社会で「これな～に？」と問われることはあまりない。
でも「ペンとって」と頼まれることはある。

「どんなペンでもいいからわたす」よりも、**状況をふまえて一番必要とされるペンを自分で判断して渡すことが求められる問題解決の力。**

ESDでは…

多様な文脈（背景）をもつ人と共存していく
ために、より良い解をつくり上げていく力を
育てていくことが求められる。

その1 「教え込みはいけない」 ②

ESDって何？

現代社会における様々な問題を、各人が**自らの問題として主体的に捉え**、身近なところから取り組むことで、それらの問題の解決につながる**新たな価値観や行動等の変容**をもたらし、もって持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習

持続可能な開発のための教育に関する関係省庁連絡会議（2016）

- ・ 知る≠行動が変わる。
- ・ 主体的に学ぶためには、納得できない、「腑に落ちない」があった方がいい。
- ・ 行動が変わるためには、納得や「腑に落ちる」という経験が必要。

「このままでいいのかな」
というモヤモヤを
「だから、こうの方がいいんだ」
という納得につなげる

人は正しい知識よりも、納得できる知識に頼る生き物。

ESDでは…

子どもたちが、より良い生き方に気づかせるだけでなく、その生き方に納得できる必要がある。

その2 「身近な教材を使う方がいい」

地産地消が実現できないと…

1. 地域の経済が廃れる
2. 保水機能がなくなる = 土砂災害・洪水が増える
3. 保水機能がなくなる = 町の温度が上がる
4. 生き物の住処が減る
5. 文化的な結びつきが減る
6. 食料が確保できない可能性が増える
7. CO₂が増加する

どれか一つだけを解決するという
方が難しいかもしれない



その2 「身近な教材を使う方がいい」



文部科学省（ユネスコ国内委員会）（2008）「ユネスコスクールで目指すSDGs 持続可能な開発のための教育」

「様々な問題は相互に複雑かつ密接につながり、地球的な規模で生じているものであって、一部のものの取組だけで解決することは不可能」

持続可能な開発のための教育に関する関係省庁連絡会議（2016）「我が国における「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム」実施計画（ESD 国内実施計画）」

一つ一つの課題は、具体的な状況の中でしか考えられないほど、すごく複雑。でも、簡単にまとめようとすると、きれいごとになってしまいがち。

身近な教材を使う

= 「地域丸ごと」を教材にできる。

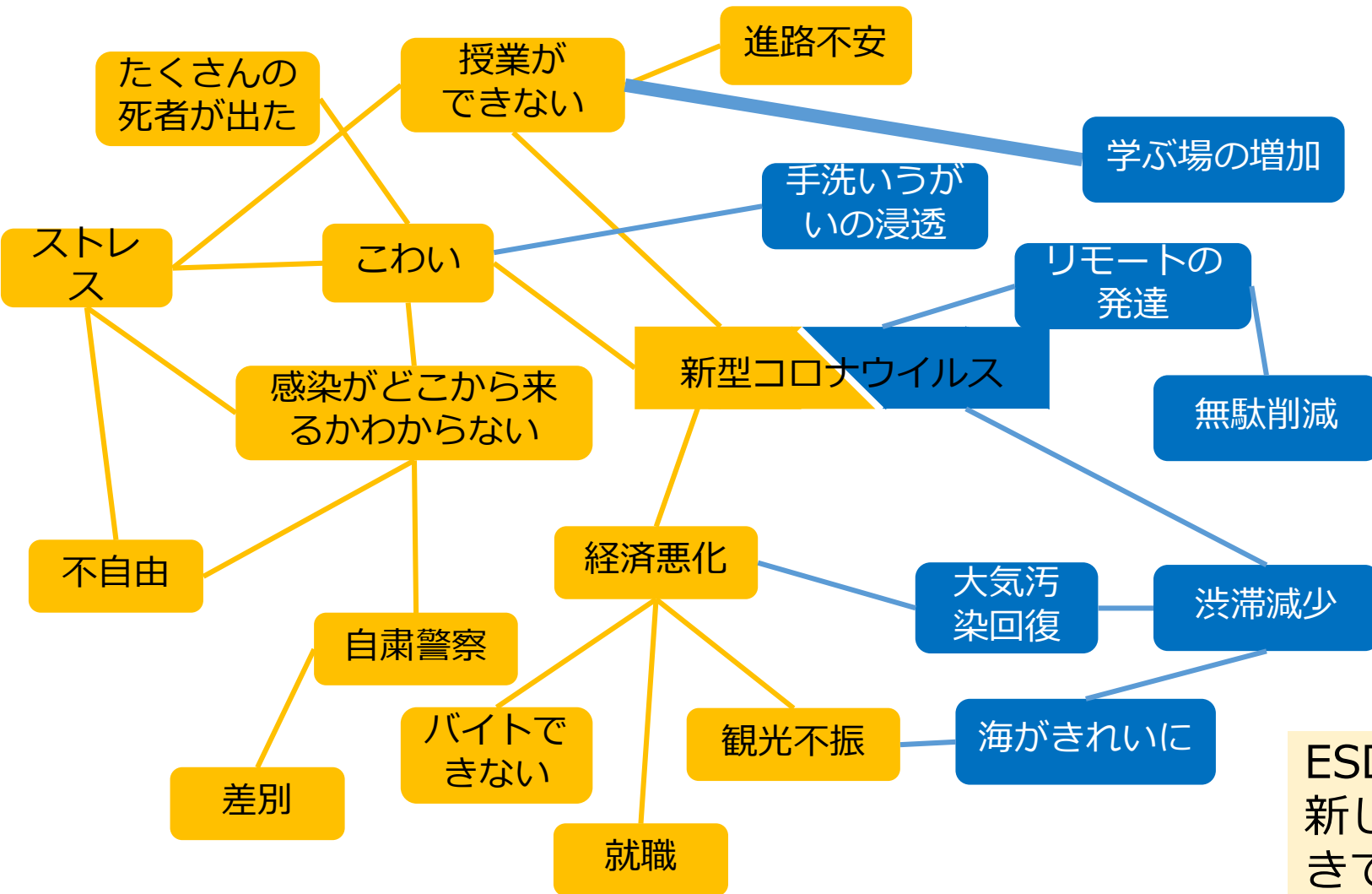
= リアルな問題、本当に地域が困っていることを題材にできる（真正な課題）

ESDでは…

いろいろな課題、要因、背景が複雑になった問題を、「全体として」捉えるシステム思考が必要だ。

その3 「先行き不透明な時代に生きる力を育まなければ。」

新型コロナウイルスの問題とは何か？



2030年まであと10年。
今の6年生が30歳になるのは18年後。

その時の課題は今の私たちにはわからない。

ESDでは…
新しい課題が明らかになったときに生きていけるための力をつけたい。
(=自分で知識を構成していく力)

ESD（持続可能な開発のための教育）

- ・ 学習は知識の獲得、知識の想像以上のものを求めている。
- ・ 価値観と行動様式の変容のためには、自身の当たり前をふりかえらせて、うたがってみる必要がある。
- ・ 予測不可能な社会における現代的諸課題を取り扱う（正解のない問題、未だ発見されていない問題）。
- ・ 複雑な自身の生活との関連の中で学ぶ（真正の課題、複合的に絡み合った問題、文脈に紐づけられた問題）。

ESD（持続可能な開発のための教育）

自身へのケア…自身の命や健康
相互のケア…文化的背景を超える
環境へのケア…身の回りから地球
環境まで

最近の流行はCare for Thingsらしい…

- ①世代間の公正を意識できる
- ②世代内の公正を意識できる
- ③生態系・自然環境の保全を優先する
- ④人権・文化を尊重する

…が、**当たり前になる**ということ

…**直観的に考える（できる）**ようになるということ

子どもたちが既有的
生活概念や
価値観

ESDで育む
構成概念

**クリティカル
シンキング**

当たり前を問い直し、
良さや課題を見出す

**システムズ
シンキング**

個々の事象をつなげて、
総合的に理解する。
知識の構造化

長期的思考

長期予測データに基づいた考察
(人口・気候・格差・食料…)

ESDで育みたい
価値観・
行動様式

より良い自動車（生産）とは？

がめ日本
いら本の
いれのCM
車てのCM
といるを
とさる見
されかれば
てわか
いるる
か！ど
が（ん
わかんな
かな車
る）が
車求

- なんか、カッコいい。
- ピカピカしてる。
- 安全などの新技術。
- 広くて快適。
- エコ技術。
- よく走る。

なんか、カッコいい。 ピカピカしてる。
安全などの新技術。 広くて快適。
エコな感じ。 めっちゃ走りそう。

という、子どものあたりまえを

日本の中古車が海外で走って
る！

海外のCMを見れば、「丈
夫」「なかなかこわれない」
の方が協調されている…！

より良い自動車（生産）とは？

研究された精度の高さ。

大量生産も、特注品も。

じょうぶなねじ。

でも、1本2円。

ただし

「不適合品があれば、同じロット製品はすべて交換。一回に10万本でも引き取ります。」

職人のこだわりと、ものづくりの厳しさ

「質の高さ」を求めるがゆえに、大量の廃棄物

ホンマに、それが
「よい自動車（生産）」といえるのか。

より良い工業（生産）とは？

しんちゃんは知っています。

まだ使えるのに、
「新作が出た！」だの、
「これ季節限定品なのよ」だのと、
新しい商品を買いたがる日本人の
いかに多いことか。

元をたどれば
「ニーズ」に応じてくれて
いただけのこと。

質の良い
材料

腕の良い
製造

質の良い
部品

精密な
機械生産

質の良い
工業製品

**腕の良い
使い方？**

足るを知り、今あるものを長く。

自分のあたりまえを
みつめなおすこと



新しいあたりまえを
自分のものにする

- ・身近なところにある（気づいていない）問い。
- ・具体的で複雑なもの・ことを調べる。
- ・ **人と出会う…SDの先輩に学ぶ**
- ・ **葛藤…これでいいのか？**
- ・ **あたりまえをつくりなおす**
- ・ 行動化

- ・ より良い自動車（生産）というものの考え方を新たにする。
- ・ 「新しい考え方」では、自分の生き方がマズイことに気づく。（いまの生き方では、納得ができない、つじつまが合わない）
- ・ より良い生き方ってなにかを考え直す

ESDの構成概念

人・もの・こと と出会う
ことで取り入れ、
働かせることで鍛えられる

構成概念を、思考する際の“見方・考え方”と捉えてみる

上位概念 \ 視点	①多種多様な要素からなる視点	②互いに作用し合う視点	③ある方向へ変化している視点
[1]人を取り巻く環境（自然・文化・社会・経済など）に関する概念	多様性 いろいろある	相互性 関わり合っている	有限性 限りがある
[2]人（集団・地域・社会・国など）の意思や行動に関する概念	公平性 一人一人大切に	連携性 力を合わせて	責任性 責任を持って

ESDで育みたい能力

- ・ 持続可能な社会の担い手にもって置いてほしい力、必要な力
見方・考え方を働かせて、課題や良さに気づいても、力がなければ課題を解決することや良さを引き出していくことはできない。

**クリティカル
シンキング**

当たり前を問い直し、
良さや課題を見出す

**システムズ
シンキング**

個々の事象をつなげて、
総合的に理解する。知識の構造化

長期的思考

長期予測データに基づいた考察
(人口・気候・格差・食料…)

**コミュニケー
ション力**

対話する力

**協働的問題
解決力**

課題発見－仮説作成－調査
－話し合い－考察・表現

